

(3) 実践事例 【ア 『つかむ』 過程における学習問題の設定】

・実践事例 1 第1学年 「世界の諸地域」 -オセアニア州- (全5時間)

単元について

本単元は、オセアニア州の代表的な国であるオーストラリアを中心に扱い、アジア諸国との結び付きという主題を設定し、オセアニア州の人々の生活の様子について追究させ、様々な面から地域的特色を理解させる。オーストラリアは、牛や羊などの肉類、鉄鉱石、石炭など日本にとって重要な輸入相手国であり、オーストラリアにとっても日本は貿易相手国の上位に位置付けられている。そのオーストラリアの外交は、イギリスを中心としたヨーロッパ寄りの国際関係から、アジア諸国を基軸に置いた国際関係に変容している。結び付きの変化の背景には、アジア諸国の経済成長やヨーロッパ諸国の経済力の相対的低下などがある。また、オーストラリアは周辺国との結び付きを強め、多くの移民を受け入れている。このように、アジア諸国や周辺国とのつながりを強め、多様な地域の民族が共存するオーストラリアの多文化社会の様子やアジア諸国との関係について学習することを通して、オセアニア州の地域的特色を捉えさせるとともに、我が国の国土の認識を深めさせることをねらいとしている。

指導に当たって

指導に当たっては、オセアニア州の中でも特にオーストラリアを中心に単元の学習を展開する。「つかむ」過程では、生徒の興味や関心を高めるために、電子黒板やタブレット型端末を活用してオセアニア州を大観させる。その上で、かつてイギリスの植民地であったオーストラリアの外交の変化を読み取らせ、学習問題「なぜオーストラリアは、ヨーロッパに代わってアジアとの結び付きが強まってきたのだろう」を設定する。「調べる」過程では、自然環境、産業、歴史的背景などの視点から、主題図や写真などのさまざまな資料を基に、調べて分かったことと考えたことを整理しながら、オーストラリアの特色を捉えさせる。更に、オーストラリアとの結び付きを強める周辺国にも目を向けさせながら、オーストラリアについて追究させることで、オセアニア州の地域的特色について理解させる。最後の「考え・まとめる」過程では、学習問題に対する意見をグループでまとめさせ、発表させる。グループの発表を受けて、最後にこれまでの学習を振り返らせながら自分の意見をまとめさせることで思考を深めさせたい。

単元の目標

- (1) オセアニア州における、オーストラリアとアジア諸国との結び付きについて追究する学習課題を基に、オセアニア州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとさせる。
- (2) オセアニア州におけるオーストラリアとアジア諸国との結び付きについて追究する学習問題を基に、多面的・多角的に考察させ、その過程や結果を適切に表現させる。
- (3) オセアニア州の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択させ、読み取ったり、図表にまとめさせたりする。
- (4) オセアニア州におけるオーストラリアとアジア諸国との結び付きについて追究する学習問題を基に、地域的特色について説明させる。

単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
○オセアニア州における、オーストラリアとアジア諸国との結び付きについて追究する学習問題を基に、オセアニア州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	○オセアニア州における、オーストラリアとアジア諸国との結び付きについて追究する学習問題を基に、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○オセアニア州の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表にまとめたりしている。	○オセアニア州におけるオーストラリアとアジア諸国との結び付きについて、追究する学習課題を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

単元の指導計画（全5時間）

過程	主な学習活動	教師の指導・支援	時配
つかむ	○オセアニア州のオーストラリアに関心をもち、貿易相手国や移民出身州の資料からその変化を読み取り、学習問題を設定する。	○面積や人口など日本と比較させることで、オーストラリアや周りの島々の特色に気付くようにする。 ○貿易額や移民数の変化を読み取らせ、気付きや疑問を基に学習問題設定につなげる。 【改善のポイント1】 ○アジア州出身の移民増加を資料から読み取らせ、その変化の理由についてグループで予想させる。 【改善のポイント3】	1
	【学習問題】 オーストラリアがアジアとの結び付きを強めているのはなぜだろう		

調べる	<p>○オーストラリアや周りの島々の地形や気候の特色を地図や雨温図から読み取る。</p> <p>○オセアニア州の先住民と文化についてその特色を理解する。</p> <p>○オーストラリアの自然環境の特色や地理的条件から、学習問題についてまとめる。</p>	<p>○オーストラリアや周りの島々と日本の地図や雨温図を比べさせながら、自然の特色を大観させる。</p> <p>○先住民の生活や文化を捉えさせるために、画像や動画などを用いる。</p> <p>○オーストラリアの自然環境の特色や地理的条件について調べて分かったことを基に、学習問題について考えたことを記述させる。</p> <p style="text-align: center;">【改善のポイント3】</p> <p>○オーストラリアがアジアとの結び付きを強めている理由について、自然環境の特色や地理的条件から考察させ、キーワードを使ってまとめさせる。</p> <p style="text-align: center;">【改善のポイント2】</p>	1
調べる	<p>○オーストラリアの農牧業や鉱業の特色を資料から読み取る。</p> <p>○オーストラリアの産業の特色から、学習問題についてまとめる。</p>	<p>○鉱工業の分布図と貿易相手国の資料とを関連させながら、鉱工業と貿易の特色を捉えさせる。</p> <p>○農業の分布と年間降水量の関係に着目し、農業の特色を捉えさせる。</p> <p>○オーストラリアの産業や貿易について調べて分かったことを基に、学習問題について考えたことを記述させる。</p> <p style="text-align: center;">【改善のポイント3】</p> <p>○オーストラリアが、アジアとの結び付きを強めていることに気付かせ、その理由について産業や貿易の特色から考察させ、キーワードを使ってまとめさせる。</p> <p style="text-align: center;">【改善のポイント2】</p>	1

	<p>○オーストラリアや周りの島々に関する資料から、歴史的背景や外交について読み取ったことをまとめる。</p> <p>○オーストラリアの歴史的背景や社会の変化から、学習問題についてまとめる。</p>	<p>○オーストラリアや周りの島々の国旗や移民の出身州の資料から、イギリスの植民地であった歴史的背景やアジアとの結び付きが強まる外交を読み取らせる。</p> <p>○多文化を尊重する社会が形成されていることに気付かせるようにする。</p> <p>○オーストラリアの歴史的背景や社会の変化について調べて分かったことを基に、学習問題について考えたことを記述させる。</p> <p>【改善のポイント3】</p> <p>○オーストラリアがアジアとの結び付きを強めていることを確認させ、その理由について歴史的背景や社会の変化から考察させ、キーワードを使ってまとめさせる。</p> <p>【改善のポイント2】</p>	1
考え・まとめる	<p>○これまでの学習を基に、学習問題についてグループで話し合い、意見をまとめ発表する。</p> <p>○これまでの学習を振り返り、学習問題について自分の意見をまとめる。</p>	<p>○地理的条件や歴史的背景、経済的・政治的理由などの視点から調べて分かったことをまとめさせ、学習問題に対する自分の考えを記述させる。</p> <p>【改善のポイント3】</p> <p>○単元を通して学習した内容を振り返らせながら、学習問題についてグループの意見をまとめ発表させる。</p> <p>○学習問題について、調べて分かったことを根拠に理由を付けて、自分の考えを記述させる。</p> <p>【改善のポイント3】</p> <p>○今後のオーストラリア社会の在り方に対する提案として意思決定を促す。</p>	1

改善のポイント

- 1 社会的事象に対する生徒の気付きや疑問を基に、単元を貫く学習問題を設定すること
- 2 社会的事象について調べたことや考えたことについて、簡潔な文章にまとめさせたり、キーワードを使って整理させたりすること
- 3 社会的事象について説明したり自分の考えを論述したりする際に、根拠と理由を述べさせること

第1学年 「世界の諸地域」 -オセアニア州- (1/5)

本時の目標

アジアからオーストラリアへの移民が増えている理由を予想し、学習問題を考え、意欲的に追究することができる。


学習問題の設定

D ヒント提示型（調べる対象を明示する方法）

本単元の学習問題「オーストラリアがアジアとの結び付きを強めているのはなぜだろう」は、抽象度が高く生徒の調べる内容が多岐にわたってしまう可能性がある。そこで、オーストラリアの外交の変化に気付かせ、変化の理由について生徒が予想したことを基に学習問題を設定する。ここでは、オーストラリアの様々な面や角度についてヒント資料を選択・活用させて予想を引き出し、調べる視点を整理しながら単元の見通しをもたせるようにする。

授業では、資料の読み取りやクイズを通して、オーストラリアを中心とするオセアニアについて関心を高めた。オーストラリアの移民に関するデータを調べさせながらアジア州との結び付きに気付かせ、その理由についてグループで予想を立てさせた。グループで発表した予想に対して問い返したり他の生徒の発言をつなげたりして、気付きや疑問を整理させながら学習問題を設定した。その上で、学習の見通しを立てさせ、学習問題に対して確かめたいことや疑問に思ったことを記述させた。

本時の様子

学習活動	教師の指導・支援（※…授業改善の手立て）
<ul style="list-style-type: none"> ○オセアニア州に関する資料やクイズから、オセアニア州について学習することを確かめる。 ○本時のめあてをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○オセアニアの言葉の意味（大きな海の世界）を考えさせ、太平洋に島国が点在する様子を概観させた。 ○オーストラリアの観光地や珍しい動物などを紹介して関心を高めた。 ○オーストラリアを中心にオセアニア州について学習することを確認させた。  <p style="text-align: center;">エアーズロックの紹介</p>

めあて これから学習するオセアニア州の学習問題を設定しよう。

<ul style="list-style-type: none"> ○オーストラリアに関する地図や統計、資料を読み取り、オーストラリアの特徴を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○電子黒板で地図や画像を提示しながら、オーストラリアの国の形や主な都市などを捉えさせた。 〔電子黒板、Google Earth、地図帳〕 ○オーストラリアの面積・人口を日本と比較しながら調べさせ、オーストラリアの広大さをイメージさせた。
--	---

	オーストラリア	日本
面積	約 769 万km ²	約 38 万km ²
人口	約 2313 万人	約 1 億 2822 万人

○電子黒板でオーストラリアクイズを行い、オーストラリアの人々の生活の様子を捉える。

※3択問題

- Q1 オーストラリアの地図が描かれているのは？
- Q2 日本が夏の時、オーストラリアの季節は？
- Q3 オーストラリアのお札は、何でできている？
- Q4 「ありがとう」をオーストラリアの言葉にすると？
- Q5 オーストラリアの首都は？

○アジア州出身の移民増加を資料から読み取り、その変化の理由についてグループで予想する。



グラフの読み取り

※資料を読み取らせるための発問

- ・移民全体の数は増えていますか？減っていますか？
- ・2011年は1901年の何倍ですか？
- ・割合が増えている(減っている)のは何色？
- ・それは、何州ですか？

※考えさせるための発問

発問：何をしにオーストラリアに行くのか？
反応：仕事・観光・留学・結婚・文化交流
発問：なぜ、アジアからの移民が増えているのか？
反応：近いから・貿易が盛んだから・自然が豊かだから

○オーストラリアクイズを通して、オーストラリアの生活の様子について関心をもたせた。

○電子黒板や Google Street View で、以下の資料を提示し、オーストラリアとアジアとの結び付きが強まっていることに気付かせた。

- 電子黒板や Google Street View で提示した資料
- ・トラックに描かれている文字 (豆腐、TOHU)
 - ・中華料理店のメニュー (食品サンプル)
 - ・オーストラリアの学校の様子 (日本語の授業)
 - ・日本の学校の姉妹校提携数の国別グラフ

[社会的事象について説明したり、自分の考えを論述したりする際に、根拠と理由を述べさせること]

【改善のポイント3】

※資料から読み取った事実を基に予想を引き出すために、「オーストラリアに暮らす移民の出身州別割合の移り変わり」のグラフから読み取れる事実を発問を通して明らかにしていった。

※資料から読み取らせるための発問と考えさせる発問を区別して行った。

※アジア州からの移民が増えているという事実を基に、その理由を促す発問を行う。その際、ヒント資料から必要なものを選択し読み取った情報から、予想したことの根拠や理由として示すように促した。

※ヒント資料

- ・真夏のサンタクロース
- ・日本語を学ぶ生徒
- ・スキューバダイビングを楽しむ観光客
- ・イギリスとオーストラリアの国旗
- ・オーストラリアの貿易相手国の変化
- ・オーストラリアの貿易品の変化



グループで意見を出し合う



問い直して思考を促す

○タブレットを使ってグループの意見を書かせ、電子黒板に提示させた。

○グループで予想したことを発表する。

グループから出された予想

- 距離が近いから、季節が逆だから、珍しい動物がいるから、海がきれいだから……自然・気候
- 貿易での結び付きがあるのでは、産業が関係しているのかも……産業・貿易
- イギリスとの関係が変わったのかも……歴史
- アジアの文化が広がってきた、留学や観光で行くようになったから……文化

○グループから出た予想を生かして、学習問題を設定する。

[社会的事象に対する生徒の気づきや疑問を基に、単元を貫く学習問題を設定すること] **【改善のポイント1】**

※生徒の予想に対して、「本当に?」「どのヒント資料からそう予想したの?」など、生徒の判断の根拠を問い直したり、判断を揺さぶったりした。

※生徒の予想を生かして、気づきや疑問を調べる内容毎にカテゴリ分けしながら、追究する視点を立てさせた。(自然・気候、産業・貿易、歴史・文化)

※他の生徒の意見につなげたりしながら、気付いたことを共有させたり、新たな疑問を生み出したりした。

※オーストラリアがアジアとの結び付きを強めている現状を確かめさせ、グループからの予想が正しいのか追究活動を通して明らかにしていくことを理解させた上で学習問題を設定した。

【学習問題】 オーストラリアがアジアとの結び付きを強めているのはなぜだろう。

○学習問題を解決するために、確かめたいことやもっと知りたいことをまとめる。

○追究する視点を基に、学習の過程を学習計画表に示し、単元の見通しをもたせた。

○学習問題を解決するために、確かめたいことやもっと知りたいことをワークシートに記述させた。

○次時の学習について確認をする。

○次時は、自然・気候について学習することを確認した。

第1学年 「世界の諸地域」 -オセアニア州- (2/5)

本時の目標

オーストラリアの自然や文化に関する資料から地理的に近いアジアとの位置関係を読み取り、オーストラリアとアジアの結び付きが強まっている理由について考察することができる。

本時の展開

学習活動	教師の指導・支援 (※…授業改善の手立て)
○本時のめあてをつくる。	○学習問題を振り返らせ、オーストラリアの自然や文化について学習することを確認させた。
めあて オーストラリアの自然や文化について調べよう。	
<p>○オーストラリアや周りの島々の自然について調べたことをワークシートにまとめる。</p> <p>○オーストラリアや周りの島々の気候について調べ、その特色を理解する。</p> <p>○オーストラリアや周りの島々の文化について調べたことをワークシートにまとめる。</p> <p>○学習した内容を振り返り、自然や地理的条件から学習問題について考えたことを記述する。</p>	<p>○地図帳や教科書を使って調べたことを、ワークシートにまとめさせた。</p> <p>○電子黒板で地図や画像を提示しながら確認させた。</p> <p>○オーストラリアの降水量や気温の資料を読み取らせ、気候の特色を理解させた。</p> <p>○電子黒板で資料を提示しながら気候の特色を捉えさせた。</p> <p>○オーストラリアの先住民に関する画像や動画を電子黒板で提示し、その文化の特色を捉えさせた。</p> <p>○オセアニアの先住民に関する資料も提示して、その特色について理解させた。</p> <p>[社会的事象について説明したり自分の考えを論述したりする際に、根拠と理由を述べさせること] 【改善のポイント3】</p>
<p>ヨーロッパに行きよれば、アジアに行った方が、距離も短く、運賃もかからぬから</p>	<p>※オーストラリアの自然や文化について調べて分かったことをまとめさせ、学習問題について考えたことを簡潔な文章でワークシートに記述させた。その際、ワークシートに記述させる前に学習問題の内容を確認させ、本時に調べて分かったことを基に、自分の考えを記述することを意識付けた。</p>
<p>オーストラリアは温帯気候があり住みやすいから</p>	<p>[社会的事象について調べたことや考えたことについて、簡潔な文章にまとめさせたり、キーワードを使って整理させたりすること] 【改善のポイント2】</p>
<p>【学習問題についての生徒の記述 (実線：根拠、点線：理由)】</p>	<p>※キーワードを考えさせる前に、学習問題の内容を確認させ、本時の学習内容と学習問題とのつながりを意識させた。</p>
<p>生徒が記述したキーワード 距離 (位置) が近い 自然豊か 珊瑚礁 温かい気候</p>	<p>※学習問題の解決に向けて習得した学習内容を、キーワードを使って学習計画表に整理させた。</p>
○次時の学習について確認をする。	○次時は、産業について学習することを確認した。

第1学年 「世界の諸地域」 -オセアニア州- (3/5)

本時の目標

オーストラリアの資源や産業に関する資料からアジアとの貿易の結び付きについて読み取り、オーストラリアとアジアの結び付きが強まっている理由について考察することができる。

本時の展開

学習活動	教師の指導・支援 (※…授業改善の手立て)
○本時のめあてをつくる。	○学習問題を振り返らせ、オーストラリアの産業や貿易について学習することを確認させた。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて オーストラリアの産業や貿易について調べよう。</div>	
○オーストラリアの主な農産物や鉱産資源を調べ、ワークシートにまとめる。	○教科書の資料や地図帳の統計資料から、オーストラリアの主な農産物や鉱産資源を調べさせた。
○オーストラリアの農業について調べ、その特色を理解する。	○オーストラリアの主な鉱産資源の分布や産出方法について調べさせた。 ○気候の特色と関連させながら、オーストラリアの農業の特色を理解させた。 ○電子黒板で資料を提示しながら農業の特色を捉えさせた。
○オーストラリアの鉱工業と貿易について調べ、その特色を理解する。	○貿易相手国と貿易品のグラフから、その変化の様子を読み取らせ、オーストラリアの鉱工業と貿易の特色を理解させた。
○学習した内容を振り返り、産業や貿易の面から学習問題に対して考えたことを記述する。	[社会的事象について説明したり自分の考えを論述したりする際に、根拠と理由を述べさせること] 【改善のポイント3】
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>オーストラリアの産業や貿易について、調べて分かったことをまとめさせ、学習問題について考えたことを簡潔な文章でワークシートに記述させた。その際に、ワークシートに記述させる前に学習問題の内容を確認させ、本時に調べて分かったことを基に、自分の考えを記述することを意識付けた。</p> <p>[社会的事象について調べたことや考えたことについて、簡潔な文章にまとめさせたり、キーワードを使って整理させること] 【改善のポイント2】</p> <p>※キーワードを考えさせる前に、学習問題の内容を確認させ、本時の学習内容と学習問題とのつながりを意識させた。</p> <p>※学習問題の解決に向けて習得した学習内容を、キーワードを使って学習計画表に整理させた。</p> </div>	※オーストラリアの産業と貿易について、調べて分かったことをまとめさせ、学習問題について考えたことを簡潔な文章でワークシートに記述させた。その際に、ワークシートに記述させる前に学習問題の内容を確認させ、本時に調べて分かったことを基に、自分の考えを記述することを意識付けた。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習問題についての生徒の記述 (実線：根拠、点線：理由)】</p> <p>生徒が記述したキーワード 豊富な鉱産資源 鉱業 鉄鉱石 石炭 第一次産業 小麦 輸出入 中国</p> </div>	[社会的事象について調べたことや考えたことについて、簡潔な文章にまとめさせたり、キーワードを使って整理させること] 【改善のポイント2】
○次時の学習について確認をする。	※キーワードを考えさせる前に、学習問題の内容を確認させ、本時の学習内容と学習問題とのつながりを意識させた。 ※学習問題の解決に向けて習得した学習内容を、キーワードを使って学習計画表に整理させた。 ○次時は、産業について学習することを確認させた。

第1学年 「世界の諸地域」 -オセアニア州- (4/5)

本時の目標

オーストラリアの歴史や多文化社会に関する資料から社会の変化の様子について読み取り、オーストラリアとアジアの結び付きが強まっている理由について考察することができる。

本時の展開

学習活動	教師の指導・支援 (※…授業改善の手立て)
○本時のめあてをつくる。	○学習問題を振り返らせ、オーストラリアの歴史や多文化社会について学習することを確認させた。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて オーストラリアの歴史や多文化社会について調べよう。</div>	
<p>○オーストラリア国旗について調べ、その歴史的背景についてまとめる。</p> <p>○オーストラリアの多様な民族について調べ、多文化社会の特色を理解させる。</p> <p>○学習した内容を振り返り、歴史や多文化社会の様子から学習問題に対して考えたことを記述する。</p> <div data-bbox="162 1137 683 1283" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>白豪主義が廃止して多文化社会としヨーロッパ系移民の移民も積極的に受け入れている。</p> </div> <p>学習問題についての生徒の記述 (実線：根拠、点線：理由)】</p> <div data-bbox="162 1525 560 1666" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>生徒が記述したキーワード 白豪主義 多文化社会 移民 植民地 国旗</p> </div>	<p>○資料集の年表や教科書の資料から、イギリスとの関係が深いことを理解させた。</p> <p>○オーストラリアの白豪主義の意味と政策転換後の社会の変化の様子を捉えさせた。</p> <p>○多様な民族が共存する社会の様子について調べさせ、オーストラリアが築こうとしている多文化社会について理解させた。</p> <p>[社会的事象について説明したり自分の考えを論述したりする際に、根拠と理由を述べさせること] 【改善のポイント3】</p> <p>※オーストラリアの歴史や多文化社会について調べて分かったことをまとめさせ、学習問題について考えたことを簡潔な文章でワークシートに記述させた。</p> <p>※ワークシートに記述させる前に学習問題の内容を確認させ、本時に調べて分かったことを基に、自分の考えを記述することを意識付けた。</p> <p>[社会的事象について調べたことや考えたことについて、簡潔な文章にまとめさせたり、キーワードを使って整理させること] 【改善のポイント2】</p> <p>※キーワードを考えさせる前に、学習問題の内容を確認させ、本時の学習内容と学習問題とのつながりを意識させた。</p> <p>※学習問題の解決に向けて習得した学習内容を、キーワードを使って学習計画表に整理させた。</p>
○次時の学習について確認をする。	○次時は、学習問題についてまとめることを確認させた。

第1学年 「世界の諸地域」 -オセアニア州- (5/5)

本時の目標

調べたことを基に学習問題についてまとめ、「オーストラリアがアジアとの結び付きを強めているのはなぜだろう」という学習問題に対する自分の意見を記述することができる。

本時の展開

学習活動	教師の指導・支援 (※…授業改善の手立て)
○本時のめあてをつくる。	○これまでの学習を振り返らせ、学習問題について自分の考えをまとめることを確認させた。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて 学習問題について自分の考えをまとめよう。</div>	
○これまでの学習を振り返りながら、学習問題について考えたことを記述する。	[社会的事象について説明したり自分の考えを論述したりする際に、根拠と理由を述べさせること] 【改善のポイント3】
○学習問題についてグループで話し合い、グループの意見をまとめる。	※学習問題について、様々な視点（自然、文化、貿易、歴史など）から調べて分かったことや考えたことをワークシートに整理させた。その際に、調べて分かったこととそれを基に考えたことを分けて書くように伝え、学習問題に対する自分の考えをワークシートに記述させた。
○グループの意見を発表する。	○グループ内で討論させ、グループとしての意見をホワイトボードにまとめさせた。
○他の意見を聞いて分かったことや考えたことを加えて、学習問題に対する自分の考えをまとめる。	※友達の意見を聞く際は、根拠となった資料や理由を確認しながら聞くように伝えた。
○グループの意見を発表する。	○グループの意見を発表させ、グループから出た意見に問い返したり、他の生徒の意見につなげたりして、多様な考えがあることに気付かせた。
○他の意見を聞いて分かったことや考えたことを加えて、学習問題に対する自分の考えをまとめる。	○他のグループの意見を聞いて分かったことやさらに考えたことを含めて、単元の学習を振り返らせ、学習問題に対する自分の考えを整理しながら記述させた。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>オーストラリアが、アジア州との結び付きを強めているのは、 第一に、位置(距離)と、輸出入だと思えます。 その理由は、オーストラリアからヨーロッパまでの距離よりオーストラリアからアジアまでの距離が近いからです。そのため、運賃がその分安く輸出がしやすいと思えます。実際、1960年と2013年の貿易相手国を比べると、1960年ではヨーロッパの国々が多けれど、2013年ではアジアの国々の方が多くなっているからです。</p> </div>	[社会的事象について説明したり自分の考えを論述したりする際に、根拠と理由を述べさせること] 【改善のポイント3】
<p>【学習問題についての生徒の記述（実線：根拠、点線：理由）】</p>	※調べて分かったことを根拠に理由を付けて、自分の考えをまとめるように促した。
○次時の学習について知る。	○今後のオーストラリア社会に対する提案としてまとめさせ、数人の生徒に発表させた。
○次時の学習について知る。	○次時は、世界の様々な地域の調査について学習することを確認させた。